

# 2020年5月理事会議事録

日 時：2020年5月13日（水）メール審議

出席（返信）：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・大島直行・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・菊池誠一・佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹・馬淵和雄・宮里 修・高麗 正、  
監事：唐澤至朗・橋本裕行

## 議案第571号 2019年度決算について

2019年度決算について、2019年度収支計算書（一般会計）及び平成28年熊本地震募金の収支計算書が提示され、一般会計は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による年度末の委員会・理事会等の会議が開催できなかったことに伴う旅費交通費を初めとする各科目に未執行があったことから次年度繰越額が増額となった。また、2020年5月8日（金）に監査を実施し、2019年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告とともに、会費未納会員の会費の取扱い・理事選挙の制度改革等についての付記事項が示された。監事からの指摘事項については今後の課題とすることとし、2019年度決算及び監査報告については原案通り承認された。

## 議案第572号 選挙管理委員の交代（追認）について

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う首都圏への緊急事態宣言の発出を受けて、当初予定していた4月4日（土）の協会事務所における理事選挙の開票作業は延期とし、開票作業場所を群馬県内に移動して行うこととした。それに伴い、他県からの移動制限により、現在の選挙管理委員16名を解任、臨時に12名の委員を選任し、原案通り承認された。なお、本議案については4月11日（土）にメール審議で行い、承認を得たものである。

（後日、群馬県の大工原委員長は臨時の委員でも選任されたことから、委員を解任せずに委員長として残留扱いとし、選挙管理委員15名を解任、臨時に11名の委員を選任とした。）

## 議案第573号 アーカイブス小委員会に関わる設置要綱の整備について

2020年1月理事会議案第558号で2020年度からの設置を承認されたアーカイブス小委員会について、設置要綱の修正案が提示され、原案通り承認された。

## 議案第574号 文書管理規定の改正（文書保存期間別表の制定）について

アーカイブス小委員会の設置に伴って文書管理規定を見直し、一部修正すると共に、第8条に「別に定める」とされていた各文書の保存期間について整備した別表（案）が提示され、原案通り承認された。

## 議案第575号 『会報』A4判化について

『会報』No.199の『日本考古学年報』71（2018年度版）・72（2019年度版）の刊行日程と会員への発送について」で説明したように、送料の削減のために、『年報』と併せて、

順次、刊行物のA4判への統一を図っていく。『会報』については、2020年度（No.200）の刊行からA4判としたいとの提案があり、承認された。

#### **議案第576号 書面総会議案書の確定と承認について**

2020年3月理事会議案第570号にて承認された第86回（2020年度）総会の書面議決の実施にあたり、各議案・報告についての説明資料となる議案書（案）が提示され、一部修正の上、各議題について承認された。

#### **議案第577号 2020年度大会、2021年度及び2022年度総会・大会の開催について**

第86回（2020年度）総会に続き、本年10月に石川県金沢市で実施予定の2020年度大会についても、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、実行委員会の会場使用等諸準備の目処が立たず、また参加者及び発表者等々の健康・安全を鑑み、今年度大会を中止とするとの提案があった。なお、今年度の総会・大会の中止に伴い、今後の開催予定場所をそれぞれ順延とし、第87回（2021年度）総会を専修大学、2021年度大会を金沢市、第88回（2022年度）総会を早稲田大学、2022年度大会を福岡市で開催することで各実行委員会と調整し了承を得ているとの説明があり、原案通り承認された。

#### **議案第578号 各委員会における委員の選任について**

##### **1 研究環境検討委員会委員の選任について**

研究倫理部会の設置にあたる人数の増員、及び担当理事を除き今期で5名の委員が退任することに伴い、新たに7名の会員と、これまで担当理事であった1名を委員として選任し、引き続き委員を務める2名を合わせて、担当理事を除く10名の委員名簿の提示があり、原案通り承認された。

##### **2 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選任について**

2020年3月理事会議案第569号で未提示であった6府県の委員名簿が提示され、一部の県の委員数に偏りがあることへの意見が出されたが、今後の課題とすることで、原案通り承認された。

#### **報告第779号 2020年理事選挙管理委員会による開票結果の報告**

2020年理事選挙については、議案第572号にあるような措置をとり、群馬県在住の会員を新たに委員として、4月18日（土）・19日（日）に群馬県前橋市で開票作業を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が全国に発出されたことを受け、集合しての開票作業を断念した。そこで、開封・有効票の確認等を唐澤監事立ち会いのもと複数委員で行い、その他については各委員が自宅で作業を進め、最終的に大工原委員長並びに唐澤監事が集計作業を行う方法を取り、一連の作業を4月23日（木）～30日（木）にかけて行い、23名の理事と次点者1名を選出したことが報告され、了承された。

#### **報告第780号 2020年度新入会員入会資格審査報告**

正会員については、資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたと

ころ、2名に対する異議申し立てがあった。第3回入会資格審査委員会は、新型コロナウイルス感染拡大により集合しての開催ではなくメール審議で橋本委員長・長谷川副委員長・担当理事3名で実施し、1名については4月5日（日）～10日（金）にかけて協議の結果、入会意志、業績等は提出された資料を対象として規則及び内規に照らした上で確認されたものであり、資格基準を満たしていると判断した。もう1件については5月になって異議申し立ての到着が確認されたものだが、申し立て自体は3月9日付であったため急遽審議することとなり、現在申し立て内容について確認中で審査結果を保留しているとの報告があった。よって、2020年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数51名、うち2名が資格基準に該当せず、1名を保留で継続審議とし、48名が内定者となった。また賛助会員のうち、法人会員については資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに申し立てはなかった。よって、2020年度新入賛助会員の入会審査は、法人会員1団体、フレンドシップ会員2名、学生会員1名が内定となり、書面議決で行う第86回総会にて承認を受けるかたちとなったことが説明され、了承された。

## 報告第781号 各委員会等における事業報告と今後の計画について（その1）

### 1 埋蔵文化財保護対策委員会報告

幹事会を2020年4月19日（日）～26日（日）にメール審議で行い、①北九州市城野遺跡の隣接地の開発計画についての報告があり、今後も経過を注視していく。②3月9日（月）に実施予定であった文化庁との懇談について、新型コロナウイルスの影響で延期となった。今後の状況次第で日程の再調整を行う。③例年、総会前日に開催している埋蔵文化財保護対策委員会について、今年は会場での開催は中止となったため、メール配信により実施する予定であるとの報告があり、了承された。

### 2 災害対応委員会報告

2月4日（火）に近藤英夫副会長と菊地芳朗委員が第11回文化遺産防災ネットワーク推進会議へ参加し、本委員会が提出した意見が反映されている、推進会議活動ガイドラインの最終案が提示・承認されたとの報告があり、了承された。

### 3 研究環境検討委員会報告

3月14日（土）に予定していた委員会をメール審議で行い、①第86回総会で実施するセッションについての進行・発表要旨内容を協議し、高校・大学等にも広報活動を行う予定を確認した。②任期満了に伴う委員の退任及び研究倫理部会の設置に伴う次期委員会体制について協議したとの報告があり、了承された。

## 報告第782号 正会員の会員資格の喪失に関わる報告

2017年度～2020年度会費30,000円の滞納により下記の6名が、定款第11条第1項1号に則り会員資格を喪失したとの報告があり、了承された。なお、滞納会費の督促については継続する。

\*（宮城県）、\*（埼玉県）、\*（東京都）、\*（神奈川県）、\*（静岡県）、\*（大阪府）  
以上